

8	(地独) 東京都健康長寿医療センター	地方独立行政法人 東京都健康長寿医療センター 年度計画の実施 (令和5年度)
事業概要	令和5年度から令和9年度までの5年間を計画期間とする中期計画を達成するため、令和5年度において取り組むべき事項を年度計画として定め、高齢者のための高度専門医療及び研究の充実・発展並びに経営基盤の改善について着実に実施する。	
これまでの経過	<p>平成21年4月：地方独立行政法人東京都健康長寿医療センターを設置し、業務運営を開始</p> <p>令和5年3月：地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター第四期中期計画認可決定 ：令和5年度計画を都へ提出</p> <p>令和5年6月：第三期中期目標期間（平成30年度～令和4年度）業務実績等報告書、令和4年度財務諸表及び業務実績等報告書を都へ提出</p>	
現在の進行状況	<p><b>【センター全体】</b> 令和5年4月～令和5年9月：新型コロナウイルス感染症への対策として、陽性患者の受入、職員へのワクチン接種、都が運営する臨時医療施設と連携した転院搬送体制の構築等を実施</p> <p><b>【病院部門】</b> 令和5年4月～令和5年9月：平均在院日数12.5日、病床稼働率70.3%で推移 （前年同期：平均在院日数11.9日、病床稼働率70.9%）</p> <p><b>【研究部門】</b> 令和5年4月：「皮膚へのやさしい刺激が肩こり症状を緩和することを発見」をプレス発表 令和5年4月：「シルバー人材センターに所属する高齢者の事故の実態とその予防のための取り組み」をプレス発表 令和5年5月：「老化による筋力低下に、交感神経が関わることを発見」をプレス発表 令和5年6月：「治療抵抗性がんに対するRNAを標的とした新たな治療薬候補分子の発見」をプレス発表 令和5年7月：「自治体の健診で使われている「後期高齢者の質問票」はその12項目でフレイルの識別が可能」をプレス発表 その7件をプレス発表</p>	
今後の見通し	<p>高齢者のための高度専門医療及び研究を行い、都における高齢者医療並びに研究拠点としての役割を引き続き果たしていく。また、病院部門、研究部門、経営部門の連携を一層強め、令和5年度から始まった第四期中期計画及び年度計画に基づき、着実に事業を実施する。さらに、5類へ移行した新型コロナウイルス感染症への対応を適切に行っていく。</p> <p>病院部門では職種の枠を超えたチーム医療の推進、医療連携の一層の強化に努め、地域全体で継続的な一貫性のある医療を目指していく。</p> <p>研究部門は高齢者の健康維持や老化・老年学の予防法・診断法の開発等に関して、老化のメカニズムや老化制御等の基礎的研究を実施するとともに、高齢者の健康長寿と福祉に関して、疫学研究や社会調査等による社会科学的研究を実施する。</p> <p>また、「認知症未来社会創造センター」におけるバイオマーカー等研究の進展、AI活用の画像診断、「フレイル予防センター」における関連団体と連携したフレイルサポート医、フレイルサポート栄養士、フレイルサポート看護師の育成、スマートウォッチ等デジタル機器活用事業における健康増進アプリケーションの開発などを進めていく。</p>	
問合せ先	地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター 経営企画局 事務部 経営企画課	電話 03(3964)1141